

A：達成できている B：ほぼ達成できている C：あまり達成できていない D：達成できていない

※評定は、評価者数が一番多い評価を学校関係者の評価としました。

		評価項目	評定	評定に関する説明および今後に向けての助言
本園の教育について	1	園の教育方針や教育内容、目標をわかりやすく伝えている	A	○教育方針、目標は、良く伝わっているように思える。相手を思いやる言葉かけ、また資料でもその様子が伺え、心が優しくほのぼのとする思いは、保護者にもしっかりと伝わっていると感じる。
	2	園は教育目標に向かって努力している	A	
	3	園はカトリックの精神を基に、まわりの人を思いやる心の育成に努めている	A	
	4	聞く姿勢や自分で考えて行動できるような指導に力を入れている	A	○年間を通して環境を整えている様子が見られ、自ずと目標の達成に向かっていていると感じる。 ○教職員の数に問題はないと思われるが、多数の園児に対して、一人の目と心で感じ、関わるには限界があると思われるので、教職員間の互いの励まし合い、融和の精神の更なる支援継承を希望する。
	5	教職員は一人ひとりの個性を大切に、適切な関わり方に努めている	B	
	6	園児は園生活のなかでお互いの良さや頑張りを認め合って生活している	A	
研究研修	7	園内外の研修に積極的に参加し、資質の向上を図っている	A	○積極的に研修に参加していることは、その都度各行事等にも表れている。工夫され、充実していると思われる高く評価する。 ○教職員間のコミュニケーションがうまく取れるよう工夫すると良い。
	8	目標達成に向け、各学年・学級間での連携、情報交換に努めている	B	
安全管理	9	防災防犯等の避難訓練の年間計画を立て、毎月実施している	A	○安心安全であるためには、自己努力と防災防犯意識の高さも必要不可欠、月1回の避難訓練はよい取り組みである。 ○子どもの安全を守るためには、保護者の協力も取り入れたい。
	10	施設設備の安全点検を定期的に行い、危険の早期発見に努めている	A	
	11	不審者への対策が講じられている	A	

保健管理	1 2	手洗い、うがいなどの生活習慣の確立や生活のリズム、食事の大切さなど健康に関わる指導をしている	A	○寒い時季の手洗いうがいは、常にメールや便りに載せ、習慣づけていることは良いと思う。
	1 3	健康診断や毎月の身体測定などで幼児の健康状況を把握し、情報を提供している	A	○子ども達の伸びやかな健康そのものを感じ、日頃の取り組みの良さを感じる。
預かり等	1 4	日々の預かり保育や長期預かり保育の内容充実に努めている	A	○部屋はきれいに整備、飾りつけも良く、居心地もよいと思われる。 ○子ども達が生き生きしている。
家庭・地域との連携	1 5	未就園児教室や子育てセミナーを開催し、積極的に子育て支援を行っている	A	○「うさちゃん教室」や保護者向けのセミナーが素晴らしいと感じている。
	1 6	園便りやホームページなどをとおして、教育活動や園生活、園児の様子の情報発信に努めている	A	○ホームページも有効活用されていて、行事等の子ども達の様子が伺え、分かりやすく発信されている。
施設設備	1 7	園は毎月の教職員の定期点検を確実に実施し、施設・設備の点検や補修・管理に努めている	A	○常に点検を実施し、努力行使が見える。さらに追点検し、管理、補修をするよう希望する。

■総合評価

評価	理由
A	<p>保護者アンケートや教員の自己点検・評価を実施することで課題が明確になり、教職員が新たな目標をもって取り組む姿勢が見られた。十分でなかった点は、今後取り組むべき課題として継続的に行わなければならないことも理解でき、概ね目標を達成できていると思われる。</p> <p>評価結果を真摯に受け止め、更なる教育活動の充実、教育環境の整備、教職員の資質向上に努めたい。</p>

■改善すべき点及び今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
安全管理・対策等	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園だけでなく、学園全体で取り組みを考える。 ・不審者警戒の看板や防犯カメラの設置を検討していく。 ・地震発生やその他の事故発生時などを想定した教職員の実施訓練も合わせて対応策を見直し、訓練後の保護者への報告方法を工夫するなど、保護者の不安緩和を考える。 ・擦り傷などのケガに対して、保護者への連絡対応の教職員の周知徹底を図るとともに、園便りなどでケガの防止をするための園での配慮やケガが起こったときの対応の仕方、子どもにとってのケガの意味（成長や発達など）を伝えていく。
情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・園便りやホームページ、掲示板をより充実させ、園で取り組んでいることや子どもの育ちや様子などを積極的に伝えていくようにする。

教職員の姿勢・態度 資質について	<ul style="list-style-type: none">・全教職員が、『保育者として』丁寧に温かで適切な姿勢を常に意識しながら、保護者との積極的な対話に努め、コミュニケーションをとるようにする。・担任が面談できる日時を知らせたり、学級懇談会の開催を増やし、担任や園の考えや思いを伝える工夫をする。・教職員一人ひとりが自身の意見や考えを述べ、それぞれの活動の目標に基づいた指導を心掛け、学年間の話し合い、他学年との連絡の場を充実させ、教職員間の情報共有を強化する。・園外研修への積極的な参加、園内研修の充実を図る。
---------------------	---